

【大原則】

- ・方針を明確にし、感染防止策を施しながら積極的に活動していく。
- ・自治体（国・群馬県・高崎市）のガイドラインの遵守を基本にする。
- ・加えて、地域やチームの実情、遠征先の実態を考慮して判断する。
- ・各家庭の休む（参加しない）判断を尊重する。

【練習実施判断基準】

- ・チームが活動できる状態にあること（≡高崎市の体育館が使用可能であること）
- ・自チーム及び近隣地域で感染者が出ていないこと

【大会・交流戦参加判断基準】

1. TERAOの状況

- （1）チームが活動できる状態にあること（≡高崎市の体育館が使用可能であること）
- （2）開催地への移動が制限されていないこと
- （3）自チーム及び近隣地域で**感染が拡大していないこと**

2. 開催地の感染状況

- （1）参加人数以上の屋内イベント開催が許可されていること
- （2）群馬県との移動が制限されていないこと

3. 参加チーム所在地の感染状況

- （1）特定警戒都道府県に所属するチームが参加していないこと

4. 大会・交流戦実施内容

- （1）大会については、コロナ感染防止対策が要項その他に明示されていること
- （2）自チーム観客席が十分確保されている等、会場全体において密にならないよう対策がとられていること

5. 参加における注意事項

（1）配車について

- ・乗車は**1列に2人まで**
- ・エアコンは外気を取り込み、一般道では窓を開ける
- ・マスク、消毒必須
- ・車内で物を食べるのは禁止

（2）その他

- ・試合が終わったらまず手洗い又は消毒をし、マスクをしてからミーティング
- ・昼食は屋外か、体育館の椅子で食べる。フロアではブルーシートは使わない
- ・マスクケース又は専用の袋は必須。ポケットに入れない
- ・水筒は会場等の状況に応じて個人で管理するか籠に入れるか決定する
- ・タオルとマスクを入れておく袋を個人で用意し、水筒とともに管理する

【練習時のコロナウイルス感染防止策】

1. 家での準備

- ・検温と体調の確認をする。体温が平熱より 0.5℃以上高い場合、咳、倦怠感、寒気など体調不良の兆候がある場合は絶対に練習に参加してはならない
 - ・新しいシャツに着替えてくる
 - ・マスクを着けて、予備を1枚持ってくる（暑い布マスクは避ける）
 - ・マスクケースまたは専用ビニール袋を持ってくる
 - ・マイタオルを持ってくる
- ※家での検温忘れが続いた場合は、練習に参加させない
 ※体調不良の場合は速やかに帰宅する

2. 練習前

- ・最初に手洗い。肘まで洗う。
 - ・体温を再度測り、日誌に体温（基本家で計測したもの）と体調を記入（当番）
 - ・荷物は約2mの間隔を開けて置く
 - ・ボールを消毒する
 - ・保護者用椅子を10脚出す
 - ・窓は全開
 - ・大型扇風機を使う。1台（2台）は外に向けて、2台(3台)は体育館内で
- ※石鹸とアルコールの用意
 ※手指消毒用のボトルと消毒&ボール用スプレーは別に用意（液の出方が違う）

3. 練習

- ・練習前はいつも通り遊んでいいが、マスクはする
- ・練習ではマスクを外して可
- ・整列は両手間隔
- ・円陣は組まない
- ・体操、アップ、キャッチボール、キャッチ練はやり方の変更なし
- ・声は、普通の大きさを
- ・ハイタッチなし
- ・ラインを組む練習はマスク着用

- ・ 20分に1回ロング休憩を入れて、手洗いとボールを消毒をする（ボールは保護者）
- ・ 中当てでは、適宜ボールを交換し汗拭きと消毒（保護者）

4. 保護者

- ・ **最初に手洗い**
- ・ 体温を測り日誌に記入
- ・ 間隔を開けて椅子に座る
- ・ 相談事は、近づきすぎないように注意

5. 練習終了後

- ・ ボールの消毒
- ・ タイマー、椅子、ドアノブ等の消毒 ※大勢が触る場所を中心に消毒すればよし
- ・ ミーティングはマスクをして間隔を広くとって

【検討事項】

- ・ 感染防止対策（マスク着用の有無 消毒方法 換気の仕方 声の出し方 間隔のとり方 保護者の見学方法等）
- ・ 主催交流戦・遠征における感染防止対策、保護者指導者の役割の見直し
- ・ 消毒用アルコールの安定確保
- ・ フェイスガード（バフ）の購入

参照

- ・ 新しい生活様式（厚労省）（群馬県）
- ・ 移行期間における都道府県の対応について（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室）
- ・ 社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（スポーツ庁）
- ・ スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（日本スポーツ協会）
- ・ 社会経済活動再開に向けたガイドライン（群馬県）
- ・ 日本ドッジボール協会の感染拡大予防ガイドライン
- ・ 日本バレーボール協会、同ハンドボール協会、同卓球協会等のガイドライン